

くらしのなかの情報

1 本時のねらい

- コンビニに関心を持ち、コンビニにできることできないことを知る。
- コンビニネットワークの概要について知る。
- 情報化社会の問題点について考える。

2 本時の展開

学習活動と内容	主な発問と指導上の留意点
1 本時の語句を確かめる。	語句:「情報」「ネットワーク」「生かす」「伝える・伝わる」「個人情報」「管理する」
2 本時のめあてを確かめる	めあて:コンビニのいろいろな顔を見つけてみよう
3 コンビニにできることとできないことを確かめる。	指:画面を見ましょう。これは、日本のコンビニです。日本のコンビニは、名前の通りとても便利です。早速ですが、問題です。コンビニではどんなことができるのでしょうか？ワークシートの問題に答えなさい。時間は3分間です。 問:できましたか？それでは、答え合わせをします。〇〇さん、お弁当やおにぎりは買えますか？(このように、子供とやりとりを楽しみながら確かめていく)
4 コンビニで働く人にわかることとわからないことを確かめる。	指:ワークシートの続きの問題をしなさい。時間は3分間です。 問:できましたか？それでは、答え合わせをします。〇〇さん、コンビニの人は「どんな人がいつ何を買ったか」がわかりますか？そう考えたわけも発表しなさい。
5 コンビニで様々な事ができるわけについてグループで話し合い考える。	指:今からグループセッションをします。コンビニがいろんな事ができるわけについて話し合い、短い言葉でまとめなさい。 ※全てのグループに発表させる。 問:それはなぜですか。
6 NHK for school 未来広告ジャパン 第17回前半を視聴し、教師の解説を聞く。	説:店にレジと店内のコンピュータはつながっています。また、それと本部のコンピュータや配送センターともネットワークができています。店でどんなお客さんがいつ何をいくつ買ったという情報は、自動的に店と本部のコンピュータに送られます。それはとても大切な情報です。その情報をもとにいつ何を店においておくかを決めるからです。おにぎりの品切れが何度か続くとお客は、もうその店には行かなくなります。しかし、品切れを恐れるあまり仕入れすぎると売れ残ります。その時、どんな人がいつごろ何を買ったかという確かな情報があれば、かなり正確に売れる数を予測できます。コンビニは情報をうまく活用し、そんなシステムをつくりあげているのです。また、店のATMやマルチコピー機などは、通信回線で銀行や旅行会社などとつながっています。だから、お金をおろしたり、野球のチケットを買ったりすることもできるのです
7 情報化社会の困ったことを考えワークシートに書く。	問:動画に出てきた室長は、「便利でハッピー」だけじゃやないと言っていましたが、どんな問題点があるのでしょうか。自分の考えをワークシートに書きなさい。
8 未来広告ジャパンの後半部分を視聴する。	指:それでは後半部分を見てみよう。
9 学習をまとめる (1)教師の話を聞く	説:情報ネットワークを悪用する人に個人情報がもれると大変な事になりますね。だから、自分の情報だけでなく、友だちの情報も含めて大切にしなければいけませんね。
(2)「今日の学習で」を書く	指:最後に「今日の学習で」を書きなさい。 ※時間があれば発表させる。